

山鹿灯籠民芸館

1925

Centennial Celebration of the
Yamaga Lantern Folk Craft
Museum Building

2025

建築100周年記念事業

写真パネル展示展
2025年8月5日(火)～11月30日(日)

～ 建築100周年を迎えて～

この度、山鹿灯籠民芸館は地域の伝統と文化を象徴する建物として
長い歴史を紡ぎ、地元の人たちや訪れる観光客に愛され続けて
建築100周年という節目を迎えることとなりました。
この機会に、建物の歴史について写真とともにご紹介いたします。

山鹿灯籠民芸館

〒861-0501 熊本県山鹿市山鹿1606番地2
TEL.0968-43-1152



●建物の歴史

1925(大正14)年	安田銀行山鹿支店として建築
1932(昭和7)年	肥後銀行山鹿支店として開店
1976(昭和51)年	山鹿市観光物産館として開館
1981(昭和56)年	山鹿市福社会館として開館
1986(昭和61)年	建物内部の改装工事着手
1987(昭和62)年	山鹿灯籠民芸館として開館
2002(平成14)年	国の登録有形文化財に登録
2015(平成27)年	建物の耐震補強工事着手
2025(令和7)年	建築100周年

この建物は1925(大正14)年に安田銀行山鹿支店として建てられ、当時、山鹿市で初めての鉄筋コンクリート造りでした。建物内部は1階部分に営業部・金庫室、2階部分に会議室・書庫があり、営業窓口上部は吹き抜けで、当時の典型的な銀行建築様式が採用されていました。1932(昭和7)年から1973(昭和48)年までの41年間は肥後銀行山鹿支店として活用され、山鹿市の経済活性化に寄与したことがうかがえます。

その後、山鹿市が建物を譲り受け、山鹿市観光物産館及び山鹿市福社会館として活用しましたが、1986(昭和61)年12月に建物内部の改装工事に着手し、大正時代のレトロで落ち着いた雰囲気を活かした山鹿灯籠民芸館が1987(昭和62)年4月7日に開館しました。

開館式典には、地元商店街をはじめ商工会議所、灯籠師など約70名が参加し、当時の中原山鹿市長が「山鹿灯籠民芸館の完成により山鹿をより一層知っていただき、山鹿の発展に寄与してほしい」と挨拶しました。

2002(平成14)年には、建物外観の様式や細部のデザイン及び装飾が評価され、国の登録有形文化財に登録され、地元の人たちや訪れる観光客に愛され続け、2025(令和7)年に建築100周年を迎えました。

